

令和 7 年第 4 回定例会 保健福祉医療委員会資料

【諸般の報告】

- | | | | |
|---|-----------------------------------|-------|---|
| 1 | 地域医療連携推進懇談会の開催について（中央病院） | | 2 |
| 2 | 教育プログラム(クライシスプラン)について（こころの医療センター） | | 3 |
| 3 | 小児在宅医療勉強会の開催について（こども病院） | | 4 |

【議案関係】

- | | | | |
|-----------|-----------------------------|-------|---|
| 第 147 号議案 | 指定管理者の指定について（こども病院） | | 5 |
| 第 125 号議案 | 令和 7 年度茨城県病院事業会計補正予算（第 1 号） | | 5 |
| 第 164 号議案 | 令和 7 年度茨城県病院事業会計補正予算（第 2 号） | | 6 |

令和 7 年 1 2 月 9 日
病 院 局

1 地域医療連携推進懇談会の開催について（中央病院）

中央病院では、地域医療支援病院として、地域の医療機関との連携を推進するため、地域医療連携推進懇談会を定期的を開催している。

昨年度に引き続き、今年度も水戸市内で開催し、中央病院診療科部長 3 名による講演会や参加者との意見交換会を行い、笠間地域及び水戸地域の医療機関との連携強化を図った。

地域の医療機関等から 180 名、院内から 85 名の計 265 名が参加し、「医師はじめスタッフとの情報交換が十分にできた」などの感想をいただいた。

今後も地域の医療機関との機能分化を図りながら、連携強化に取り組んでいく。

○ 地域医療連携推進懇談会の概要

名 称	令和 7 年度 地域医療連携推進懇談会
日 時	令和 7 年 11 月 11 日 (火) 19:00～21:00
参加者	265 名(うち院外(地域の医療機関等) 180 名)
場 所	水戸プラザホテル
講演会 テーマ	①ABCD 法による C 型肝炎患者の院外拾い上げのご報告 【講演者：荒木消化器内科部長】 ②がんゲノム医療 標準的な「がん診療」のできない病院という 悪評を受けないために今すぐに始めるべきこと 【講演者：石黒腫瘍内科部長兼がんゲノム医療センター長】 ③茨城県の神経内科診療における連携について 【講演者：寺田神経内科部長】



講演会の様子



意見交換会の様子

○ 地域医療連携に関する実績

年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7(10月末)
紹 介 率	62.6%	64.8%	73.5%	79.5%	80.3%
紹介患者数	8,876 人	9,615 人	9,540 人	9,921 人	5,733 人
逆 紹 介 率	90.7%	94.4%	100.5%	106.2%	105.6%
逆紹介患者数	12,853 人	14,014 人	13,054 人	13,254 人	7,538 人

○ 連携体制構築に関する実績

年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7(10月末)
病院訪問件数	28 件	45 件	81 件	91 件	74 件

2 教育プログラム(クライシスプラン)について（こころの医療センター）

「クライシスプラン」とは、患者本人及び支援者相互で安心した環境を作るため、患者の病状悪化の兆候が見られた際の自己対処と支援者の対応について、患者本人の合意に基づき作成する計画である。

入院中にクライシスプランを作成し、退院後、かかりつけ医の診察や訪問看護の際に活用することにより、危機介入・再入院の予防を図ることができる。

当院では、近年、多職種共同の教育プログラムとしてクライシスプランの作成に積極的に取り組んでいる。

今後も退院した患者が地域社会で安心した生活が送れるよう、本プランの作成等を通じ、地域移行支援に努めていく。

（１）クライシスプランの作成方法

作業療法士、看護師、ケースワーカー等が、患者やその支援者と協力し作成。患者本人の療養環境、状態、成長過程にあわせ修正し、その都度支援者と共有。

クライシスプラン作成例

〇〇のハッピープラン

安定しているとき

状態

- ・穏やか
- ・冗談を言える
- ・体調がよい

（自分・周囲 対処）

- ・規則正しい生活（特に早寝）
- ・運動
- ・遠出

注意

- ・夜中に目が1回以上覚める
- ・だるさが出現
- ・酒量が増える(3本)

- ・早寝(23時までに)
- ・お酒を2本までにする
- ・落ち着く音楽を聴く

要注意

- ・顔の一部がピクピクする
- ・イライラしやすい
- ・忘れっぽくなる
- ・体調を崩す

- ・休みを取る
- ・温泉に行く
- ・仕事は最低限

【私の支援者】

- ・家族
- ・職場の仲間
- ・友人

【状態悪化時の希望】

- ・子どもの風呂をお願いします
- ・遠出に付き合ってください
- ・1人の時間をください

計画同意者: 〇〇 〇〇

（２）クライシスプランの作成効果

クライシスプランを作成し退院した患者は、作成せずに退院した患者と比較して再入院率が低い傾向にある。

【退院後3カ月以内の再入院率】

（単位：％）

年度	こころの医療センター		精神単科病院 (全国平均値)
	プラン作成者	病院全体	
R5	10.5	18.0	20.6
R6	8.6	17.3	18.2



クライシスプラン作成時の様子



3 小児在宅医療勉強会の開催について（こども病院）

こども病院では、在宅で治療を続ける重症心身障害児のケアに関して、訪問看護事業所の看護師等に向けた勉強会を例年開催しており、今年度は11月と12月に計4回開催することとしている。

11月は、医療的ケア児に必要な在宅ケアの基礎及び在宅人工呼吸器の取扱いや急変時対応方法、気管切開・胃ろうの緊急時対応についての実技演習を実施した。

12月は、発達の遅れがある児への発達支援について、当院のリハビリテーション科職員による講義と演習を実施する予定である。

今後も専門的知識と技術の普及を通じて、地域と連携しながら医療的ケア児への支援体制の充実に努めていく。

テーマ①：医療的ケア児に必要な在宅ケアの基礎と緊急時対応	
○開催日時 第1回：R7.11.15（土）…参加者 43 名 第2回：R7.11.29（土）…参加者 48 名 （各日ともに 13：30～16：00 まで） ○場 所 茨城県立こども病院（多目的ホール）	○スタッフ 当院 医師及び看護師 他 ○内容（講義＋実技） <ul style="list-style-type: none"> ・在宅人工呼吸器の取り扱い ・医療的ケア児の急変時対応 ・気管切開・胃瘻の緊急時対応
○参加者の職種 看護師、相談支援専門員、保育士、言語聴覚士、保健師、理学療法士、作業療法士、教諭、介護福祉士、公認心理士、相談支援事業所管理者	
	
<p>講義の様子</p> <p>実技の様子</p>	
○参加者の声（アンケート結果抜粋） <ul style="list-style-type: none"> ・本物のカニューレ（気道を確保するための医療器具）や胃ろうは、普段は体に入って見えない部分なため、見たり触れられたのが参考になった。 ・現場で疑問に思っていることを直接医師に確認し、解決したことで安心感に繋がった。 ・小児の急変時対応などを学ぶことができ、大変良かった。 	

テーマ②：発達の遅れがある児への発達支援	
○開催日時 第3回：R7.12.13（土）… 開催予定 第4回：R7.12.20（土）… 開催予定 （各日ともに 14：00～16：00 まで） ○場 所 茨城県立こども病院（多目的ホール）	○スタッフ 当院 理学療法士、作業療法士 ○内容（講義＋実技） <ul style="list-style-type: none"> ・理学療法編 ・作業療法編

第 147 号議案 指定管理者の指定について

第 125 号議案 令和 7 年度茨城県病院事業会計補正予算（第 1 号）

1 指定の内容

- (1) 公の施設の名称 茨城県立こども病院
- (2) 指定管理者候補者 茨城県水戸市双葉台三丁目 3 番 1 0
社会福祉法人恩賜財団済生会支部茨城県済生会 支部長 村田 実
- (3) 指定期間 令和 8 年 4 月 1 日 から 令和 1 3 年 3 月 3 1 日 まで（5 年間）
- (4) 債務負担行為限度額 3, 4 8 5, 1 0 5 千円（5 年間総額）

2 募集及び選定経過

(1) 募集

非公募のため、社会福祉法人恩賜財団済生会支部茨城県済生会についての審査を行った。

（非公募の理由）県北・県央ブロックの総合周産期母子医療センターを担う水戸済生会総合病院と県立こども病院は、一体的な管理運営や密接な連携等によって、効率的、効果的な管理運営が図られるため。

(2) 選定経過

○ 病院局指定管理者選定委員会

委員数：5 名（外部有識者 3 名、県側委員 2 名）

○ 選定委員会開催状況

開催日：令和 7 年 1 0 月 2 8 日（火）

○ 選定結果

申請団体からの申請内容の聴取及び審議を行った結果、社会福祉法人恩賜財団済生会支部茨城県済生会を指定管理者候補者として選定した。

第 164 号議案 令和 7 年度茨城県病院事業会計補正予算（第 2 号）

1 補正予算案の概要

職員の給与に関する条例等の改正に伴い、職員の給料の改定等に必要な予算を計上するもの。

2 補正予算案の内容

給料及び期末・勤勉手当の引き上げ

- ・ 給料の平均改定率：+3.01%
- ・ 期末・勤勉手当の年間支給月数：4.6 月分 → 4.65 月分

3 収益的支出の補正額

（単位：千円）

科目		補正前の額	補正額	計
事業費用	本庁	143,059	2,600	145,659
	中央病院	21,348,527	324,977	21,673,504
	こころの医療センター	4,312,885	124,399	4,437,284
	こども病院	1,423,548	78,343	1,501,891
	計	27,228,019	530,319	27,758,338